

藤沢市社会教育委員会議
令和2年度6月定例会

議 事 録

日 時 2020年(令和2年)6月8日(月)
場 所 藤沢市役所本庁舎8階 8-3会議室

令和2年度藤沢市社会教育委員会議6月定例会

日時： 2020年（令和2年）6月8日（月）
午前10時から正午まで

場所： 藤沢市朝日町1番地の1
藤沢市役所本庁舎8階 8-3会議室

1 開 会

2 議事録の確認

3 議題

- ・教育文化貢献者感謝会表彰候補者の推薦について
- ・（仮称）考察集の最終確認について

4 報告

5 その他

6 閉会

(出席委員)

川野佐一郎・稲川由佳・石川美保子・井沼隆史・長田祥男

瀬戸内恵・平野まり・本多清弘・三宅裕子

(事務局)

齋藤参事・井出主幹・田高課長補佐・渡邊主任

***** 午前10時2分 開会 *****

川野議長

ただいまから社会教育委員会議6月定例会を開催します。

事務局から本日の欠席委員の確認をお願いします。

事務局

藤沢市社会教育委員会議規則第4条によりまして、審議会の成立要件として委員の過半数以上の出席が必要とされております。委員定数15名に対して本日出席委員が9名、欠席委員が3名、年度末の定年退職等に伴う欠員が3名ということで、会議は成立しますことをご報告申し上げます。

川野議長

傍聴者の確認をお願いします。

事務局

本日傍聴者はありません。

川野議長

資料の確認を事務局からお願いします。

事務局

(配付資料の確認)

川野議長

議事に入る前に、前回の3月定例会の議事録について確認をします。何か修正等ございますか。特段なければ確定いたします。

本日の会議について、「3議題」のうち、「(1)教育文化貢献者感謝会表彰候補者の推薦について」は非公開、「(2)(仮称)考察集の最終確認について」は公開としますが、ご異議はございませんか。

[異議なし]

それでは、「3議題」の「(1)教育文化貢献者感謝会表彰候補者の推薦について」、事務局から説明をお願いいたします。

***** 非公開議題 *****

川野議長

次に「(2) (仮称) 考察集の最終確認について」に入ります。本日の資料1が原案となります。社会教育を学んでいる学生から、社会教育委員はどのような活動しているのか分からない、ということを質問されることがあります。我々の活動をきちんと示さねばいけないのではないかと、という思いが自分の中にあり、現在ではなくて将来に向けて、社会教育委員としてやってきた実績をこういう形でまとめることができました。ご協力いただき、大変ありがとうございました。

副議長から議長・副議長の校正作業の内容を報告していただきます。よろしく願いいたします。

稲川副議長

資料1をご覧ください。このような形にまとめることができ、この会議のすばらしさを発揮できたのではないかと考えています。表紙と奥付と目次はまだ最終段階ではなく、今後も微修正を行っていく予定です。

まず、表紙に関しては、「人生100年時代における藤沢市生涯学習の可能性 ―私たちの視点から―」というタイトルにします。考察集という言葉はここには入れないということで進めていきたいと考えています。

1ページの目次については、差し替え資料を皆様のお手元に配らせていただいておりますのでご確認ください。差し替え後の目次には、各題目に番号がついていません。フラットな形で読んでいただければということで、番号を振るのはやめるということを議長と私とで決めさせていただきました。また、目次に編集の責任として、川野議長と私の名前を入れさせていただきます。

奥付のタイトル名称は表紙と同じく、「人生100年時代における藤沢市生涯学習の可能性 ―私たちの視点から―」ということになります。それ以外に資料がついているということと、今後、川野議長のあとがきを加えるという構成を予定しています。

川野議長

これまでの社会教育委員会議事は、諮問に基づいた答申や調査研究報告書、建議という形で作成してきた経緯があります。今回作成したものをどのような位置づけとするか皆さんからもご意見をいただきましたが、2年間社会教育委員として活動してきて、藤沢市の社会教育の将来を思いながら、考えていることをここにまとめましたという趣旨であとがきを書きたいと考えています。編集の責任は議長・副議長で受け止めたいと思います。

皆さんからご意見等がありましたらお願いいたします。

井沼委員

訂正箇所ですが、委員名簿の私の名前が誤記になっています。

長田委員

議長と副議長のご所属の大学名が逆になっています。

川野議長

そのほかはどうでしょうか。

それでは、皆様から今回の作成にあたって、一言ずつ感想をお願いします。

本多委員

時間もかなり限られている中で、自分なりにいろいろなデータを持ってきて、結構興味深い傾向もつかめたかなと思ったのですが、それが何か、それをどうするのかと問われると、もう少し考察したいと感じています。

瀬戸内委員

文才もなければ経験もないので、何を書けばいいのか非常に困り、文章がカジュアルになってしまい申し訳なかったです。皆様の書かれたものを拝読させていただいて、今後の自分の勉強にさせていただければと思っています。ありがとうございました。

石川委員

私は図書館に対してとても思い入れがあって、それを盛り込みたかったのですが、何となく無難な形になってしまったなという気がしています。今まで図書館に対していろいろ勉強させていただいたことをまとめられたことは、有意義な経験になりました。ありがとうございました。

井沼委員

自分の経験を文章として形に残すことができましたが、文章のほうはなかなかうまく書けませんでした。書いている思いが伝わればいいのかと思っています。

三宅委員

改めて勉強して、考える機会をいただきまして、大変感謝しております。ほかの方の原稿も読ませていただいたのですが、非常にいろいろな視点から見ていて、先ほど議長も言われましたが、社会教育としていい冊子になるだろうなと思いました。本当にどうもありがとうございました。

平野委員

私は前任者に相談し一緒に作成しましたが、皆さんの書かれたものを見ると、よく考えていらっしゃるので、少し恥ずかしくなりました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

長田委員

皆さん勉強なさっているのだな、ということが胸に響いてきます。社会教育委員としていろいろなことが蓄積されて、あれも書きたい、これも書きたいという思いを抱きました。こういう機会を与えられたことで、今までやってきたものをもう1回見直すことができました。ありがとうございました。

稲川副議長

皆様の文章を本当に素晴らしいなと思いながら読ませていただきました。それぞれの分野でご活躍されていらっしゃって、いろいろな思い入れをお持ちでいらっしゃるということが伝わってきましたので、多くの方に読んでいただければと思っています。

社会教育委員会議に携わって、いろいろなことを勉強させていただき、資料のタイトルにもありますけれども、私たちの視点から見て未来を考えられる、次の世代にきちんと伝えるということの礎に、この文章がなっていけばいいなと思っております。本当にどうもありがとうございました。

川野議長

検討を始めて4か月が過ぎ、ようやくまとまりつつありますが、文章を書く機会が少ない中、皆さん大変だったろうなと思います。思いをここに書き連ねることができた満足感を優先していただければと思います。

文章を書く際に、知識を持っている人と、知識はないけれども経験はある人とがいらっしゃいますが、経験のある人のほうがはるかにいい文章になっていると思うときがあります。

作家の井上ひさしさんは遅筆な人で、非常に言葉にこだわったといわれています。最後に皆さんに、お礼の意味をこめて彼の文章を読みませす。

「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く、面白いことを真面目に、真面目なことを愉快地に、そして、愉快的ことはあくまでも愉快地に」

井上ひさしさんも非常に愉快的な人でしたから、愉快的ことをさらに愉快に書いてと言ったのだと思うのです。難しいことをやさしく書くというのは大変なことです。職業柄、学生に難しいことを難しく教えて分かったかと言っても、分からない学生のほうが多いのですが、それは当たり前です。一方で、難しいことをやさしく言うということは、ものすごく大変なことです。協働や市民自治という言葉を使って、いかにも分かったような感じですが、実際にこれを人に伝えるためには、どういう書き方をすれば伝わるのだろうかと思っていました。そんな中、皆さんは伝わる言葉を使って書いてくださっていてすごいなと感じました。

反省されている方もいらっしゃいましたが、非常に得られたものは大きかったと思いますので、今後の社会教育委員としての活動に生かしていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

それでは、今後のことについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

短い期間の中で、皆様のご意見が凝縮されたものができたと思っております。ありがとうございました。事務局で修正箇所を直して、余白部分にはイラスト等を掲載し、完成形を再度皆様にお示しいたします。

今後の予定としては、6月下旬に会議を代表し議長と副議長から教育長へ完成した冊子を提出していただき、経緯等の報告もあわせて行います。

その後、市ホームページへの掲載と、近隣自治体や市内の各施設へ冊子をお配りしたいと考えております。

もう一度ご自身が書かれたところを読み返しいたいて、誤字脱字、あるいは表現方法等の変更がありましたら、今週末までに事務局のほうにお知らせいただきたいと思います。

事務局でも数値や言葉の表現、漢字の表記など、文意を変えない範囲で修正する際、確認が必要と思われる場合は連絡を差し上げることもあるかもしれませんが、よろしくをお願いします。

川野議長

それでは続きまして、「4報告」に入りますが、各委員から報告事項はないと聞いておりますがよろしいでしょうか。

それでは、「5その他」に入ります。事務局から何かありますか。

事務局

資料2をご覧ください。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言が解除されたことに伴い、本市における社会教育施設等の再開について検討した結果を記載しています。

6月1日以降、感染症予防対策等の準備ができ次第、各施設を順次再開するという全庁的な方向性を出しております。感染症防止対策を踏まえて、利用者がどのような形で利用できるかというルールづくりや周知方法が検討でき次第、再開させていただきたいと考えています。

社会教育施設については、基本的に6月15日、または16日に開けていく予定となっております。16日としている理由は、15日が休館日であること等がございますので、それを踏まえての予定となっております。公民館は16日から再開となりますが、抽選会については15日に実施いたします。

また、藤澤浮世絵館は事前予約制を取り、密にならないよう工夫して、再開していきます。

市民会館、湘南台文化センターは比較的大きい施設になりますが、イベントの実施等については、屋内施設に関する国の基準が100人以内での事業実施という形となっております。今後については、国等の動向に応じて検討していきます。

スポーツ施設につきましては、6月15日から屋内、屋外ともに施設を再開していきますが、プール、トレーニングルーム、サウナ等の一部については、休止を継続していくという形で調整をしています。

また、学校における施設の開放事業、夜間照明を使つての事業の予定については、学校もようやく再開した中で、教育委員会等を含めて調整を進めている状況です。

市で管理している常設のビーチバレーコートは、今年度藤沢をはじめ、湘南地域では海水浴場を設置しないという方向性になっていきます。県の施設等も含めて調整を進めているところで、現在は閉めている状況です。

図書館や各市民センター・公民館に設置している図書室については、入館して自由に本を選ぶのではなく、事前に予約した本の貸出しを6月1

日から行っている状況です。

今回説明した再開状況と今後の予定については、県内や市内の感染者の発生状況を踏まえて、変更が生じる場合もありますので、ご了承ください。

施設の再開等についての説明は、以上となります。

川野議長

ありがとうございました。県内の状況を見ると各市町村によって違いがあるかと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

感染者の発生状況や感染防止対策の周知状況に応じて、再開を決定している市町もあります。

川野議長

今日、市庁舎の正面から入ってきたのですが、上を見上げたら、「#STAY LOCAL #ENJOY LOCAL」と書いてあって、藤沢市らしいなと思いました。ステイホームではなく、そういうところに気を配っているのだなと感じました。第2波が来るものとして考えていかなければ駄目だと言われますけれども、いずれにしろ、一歩踏み出していくことが大切だと感じました。

今日は任期満了前の最後の定例会になります。委員を務められた感想を皆さんからお願いしたいと思います。

長田委員

社会教育は間口が広く、どこをつまんでいってもいろいろな論議ができる内容があります。また、それがどこまで進んでいるのか、どこまでやったらいいのかということが分からない分野で、私たちがやることによって、少しでも社会教育が市民の皆さんに浸透して行って、リアクションができて合致できる社会というものがつくればいいなと思って活動しておりますが、ほとんど実行ができておらず、毎日毎日が反省ではあります。ありがとうございました。

平野委員

図書館や公民館といった、ふだんお目にかかるようなことがないような方々といろいろなお話できて、とてもよかったと思っております。

三宅委員

改めて社会教育とは何だろうかということと、格差社会になってきたときに、前と同じような形で社会教育を進めていっていいのかということを感じました。今回のコロナもそうですが、どういう形で社会教育を進めるのが一番いいのだろうか考えるようになりました。

井沼委員

委員の皆さんは見識をお持ちの方ばかりだったので、いろいろな意見を聞き、そこで勉強したものを自分が所属する団体に持って帰って、ほかのメンバーに還元していくという形ができました。この会議はいろいろな意

見が出ますし、政策なども決めなくてはいけない会議だと思うので、もう少し皆さんと話ができる時間があれば、より深まって意義のあるものになるのではないかと思います。ありがとうございました。

石川委員

大学の頃に「ソーシャルエデュケーション」という言葉を聞いたときと、大人になって社会教育に携わったときとで受けた感じが違いました。

例えば、近年は子育てを大変なものと思え過ぎていて、子育てを楽しくないという前提から入っている感じがします。大人自身が学んで、楽しんで子どもに伝える、子どもに伝えるのもただ勉強を教えるということではなくて、大人自身が学んで、多角的で広い視野で物事を捉えて伝えるということが社会教育にもつながるのではないかと感じました。自分自身の学びを今後も深めていきたいと思います。ありがとうございました。

瀬戸内委員

いろいろな経験をさせていただいて大変有意義でした。一番印象に残っているのは、最初の頃に県の研修に参加させていただいたときのワークショップで、ほかの市の方から、「やっぱり藤沢市はすごいよね」とか「さすがだね」と言われたことです。私はそのとき分からなかったのですが、社会教育主事の方が事務局に配置されていたり、定例会の内容が形骸化していない、といったことを市外の方からお話を伺うことで、藤沢市を俯瞰して見ることができ、改めてすばらしいところで生活しているのだと感じました。2年間、どうもありがとうございました。

本多委員

私自身は根っからの企業人で、会社でサラリーマンをずっとやってきたものですから、こういう場において見識も何もない中で、2年間社会教育委員が務まるのだろうかと思いつつながら、会議に参加させていただきました。何のお役にも立てなかったのではないかとというのが、正直な今の感想です。この経験を今後に生かしたいと思います。

稲川副議長

皆様のご協力があつて会議を進めることができ、すばらしいメンバーに恵まれたなと思います。団体によっては任期途中で交代された方もいらっしゃると思いますが、前任の方もすばらしい方たちで、そういう方に出会えることができたのが私の財産だと思っております。

大学ではボランティア論を担当しているのですが、ボランティアをやって、学んだことをまたボランティアに生かしていくということが学びにつながっていると思っています。ですので、藤沢の子どもたちがここにずっと住み続けたいと思えるような場にするためにも、藤沢市の社会教育がこれからもますます発展していけばいいなと感じています。2年間ありがとうございました。

川野議長

最後に、私から皆さんにお礼を申し上げたいと思います。どうも2年間、

お疲れさまでございました。

市の考え方と違うことを我々が進めてはいけないなどとは思っていますが、行政とべったりでもいけないと思います。つかず離れずという言葉がありますが、時には批判もし、時には後押しもしてというあり方であるべきではないかと思っています。皆さんからの感想を聞くと、藤沢市に愛着を持っていらっしゃることを感じました。

社会教育に限らず、教育の効果というのは、すぐに現れるものではないと思います。小学生が一生懸命勉強して、大人になったときに立派な社会人として社会に貢献できるような人材に育っていくことを考えれば、教育の効果が現れるのは10年ないし20年後というように考えていかなければいけません。社会教育委員を1期2年やったけれども、何もできなかったというのは普通です。

最後に事務局からお願いします。

事務局

皆さん、本当に2年間、ありがとうございました。

いろいろな分野から会議に出てください、様々なご意見を頂戴いたしました。事務局としても、まだまだ気づけていない点も含めて新たな発見があり、すごく勉強させていただきました。

生涯学習部としては、今年度はオリンピック・パラリンピックが実施される予定でしたが、新型コロナの影響があり延期になってしまいました。また、他の様々な事業も延期や中止で実施できていないことがあります。新たな生活様式の中で、学び方も変わってくる部分があります。そうしたことを踏まえ、皆様のご意見を今後も参考にさせていただき、今のニーズに合った事業にも取り組んでまいりたいと思います。

皆様のますますのご活躍を祈念し、引き続き、市の社会教育に関しましてご協力いただければと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。本当にどうもありがとうございました。

川野議長

それでは、これで6月定例会を終了いたします。

大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。

***** 午前11時17分 閉会 *****